

CA125 および CA19-9 改良試薬の比較検討と院内運用について

◎尾島 優子¹⁾、中島 みどり¹⁾、中野 祐介¹⁾、吉村 公志¹⁾、國岡 菜月美¹⁾、是松 あかね¹⁾、中嶋 由希菜¹⁾
社会医療法人社団 高野会 大腸肛門病センター高野病院¹⁾

【目的】当院で測定している腫瘍マーカー（測定機器 HISCL5000 Sysmex 社）のうち、CA125 と CA19-9 の基質改良に伴い、測定値が若干の低値になることが示唆された。そこで、改良試薬と現行試薬の測定値を比較し、院内運用について検討した。

【対象および方法】CA125 は 2018 年 9 月から 12 月の 82 例、CA19-9 は 2019 年 11 月から 12 月の 174 例について、現行試薬（CA125, CA19-9）での測定後、改良試薬（CA125 II、CA19-9 II）の測定を行い、両試薬における比較を行った。また、その結果を基に院内への報告値について検討した。

【結果】両試薬測定結果について、現行試薬測定値（ y ）は、CA125 : $y=1.1677x+19.1899$ ($r=0.9916$) CA19-9 : $y=1.0939+0.5854$ ($r=0.9689$) といずれも強い相関を認めた。しかし、改良試薬測定値は、CA125 で約 15%、CA19-9 で約 10%低値となった。このことから、当院では改良試薬測

定値に係数を乗じて報告することとした。両試薬測定値の 90%は 100U/mL 以下であることから再検討し、係数は CA125 で 1.2140、CA19-9 で 1.1185 とした。係数考慮後の報告値と現行試薬測定値の検査結果一致率は、CA125 93.9%、CA19-9 94.8%と良好な結果を得た。

【まとめ】CA125、CA19-9 共に現行試薬と改良試薬の相関は良好であったが、改良試薬測定値は、10%程度低値となった。このため、当院では測定値に係数を乗じて報告することとした。更に段階的に見直しを行い、現在は係数を排除し測定値を報告している。これまで特に臨床からの問い合わせも無く、改良試薬へ移行することが可能であった。
連絡先 096-320-6500(代表)